

2021年 9月 5日

千葉県労働組合連合会 様

障害者の生活と権利を守る千葉県連絡協議会

代 表 天海 正克

事務局長 上村 宏則

千葉市花見川区幕張町5-417-222-109

TEL・FAX 043-308-6621

## メッセージ

千葉労連第33回定期大会のご成功を祝します。

日頃から障千連の活動にご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染の脅威がなお続いている中、公立病院の削減・縮小により自宅療養を余儀なくされ、重症化や死に至る状況も増えています。

また、障害者や高齢者の生活施設・通所施設、居宅介護事業所などの介護・福祉現場や障害児学校での、まさに命をかけた献身的なとりくみがあって、なんとか生活を維持できていることも報告されてきています。

その一方で安倍政権を引き継ぐ菅内閣は、憲法改悪をたくらみ、財界主導の「全世代型社会保障会議の新設」を強行しようとしています。

「全世代型」とは、福祉の営利化を進めるために、高齢者・障害者など既存の社会保障給付を抑制する仕組であり、世代間の分断を強化し「自助・互助・共助」の強化・公的責任のさらなる後退を図ろうとするものです。

65歳で介護保険を申請しない障害者の介護を打ち切るとは適法とする、5月18日の天海訴訟千葉地裁判決は、全世代型社会保障の誤ったルールをそのまま反映したものでとても許すことはできず、上告し東京高裁での逆転勝訴をめざします。

また、過半数の市町村から千葉県に意見書が提出された、精神障害者の医療費助成は昨年8月から実施されましたが、その対象者は精神障害者手帳1級所持者に限られており、2級まで拡大させていくことが必要です。

障千連はこうした要求の実現をめざし、全国最下位クラスの遅れた千葉県の福祉・医療・教育を改善するため、協力・共同の運動の輪を広げて活動していきたいと思えます。

## 千葉労連第33回定期大会 御中

### メッセージ

千葉労連第33回定期大会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。

貴団体が、新型コロナ禍が深刻なもとで、労働者の雇用とくらしの諸要求実現と憲法・平和を守る運動にご奮闘されておりますことに敬意を表します。

消費税増税と新型コロナ危機のもと、私たち県連・民商も、中小業者のいのちを守り、営業とくらし、地域経済を守るために、国・県・自治体の実態を届け、「自粛と補償は一体に」「誰ひとり取り残さない」すべての事業者を支援する施策を要望し続けています。再度の持続化給付金などの支援策の実施、消費税5%への引き下げで景気回復をさせることが急務です。世界では62の国・地域が減税政策を実施しています。またコロナ禍での景気回復策の消費税減税に賛同する国会議員は自民党含め48%となっています。政党で反対は自民・公明の両党です。しかし菅自公政権は「消費税引き下げ」の世論を無視し続け、臨時国会も開かず、菅首相は政権を投げ出すという事態です。

23年10月からのインボイス制度の実施に向け、今年10月からインボイス発行事業者の登録申請を始めるとしています。コロナ禍で営業が厳しくなっている時に、小規模事業者やフリーランスの取引排除を招くインボイス制度の実施に向けた準備をするなど、とんでもないことです。消費税の引き下げ、インボイス中止・廃止の世論を強めましょう。

いのちとくらしを守り、立憲主義、民主主義、基本的人権の擁護・発展を求める声と共同、市民と野党の共闘が広がっています。新しい政治の実現へ、共に力を合わせましょう。

本大会が、皆様の更なる前進と発展の大きな契機となりますことを心より祈念し連帯のメッセージといたします。

2021年9月5日

千葉県商工団体連合会  
会長 橋沢 政實

## メッセージ

第33回定期大会の開催、おめでとうございます

コロナ感染症が猛威をふるい、明日は、わが身にと国民は、不安を抱えながら生活しています。

コロナ感染症が長引く中、企業が疲弊するなかで、真っ先に退職を迫られるのは、女性です。そんな中、どんな時も労働者の命を守り、労働者の相談活動をつづけ、闘ってこられた千葉労連のみなさまに敬意を表します。

「オリンピック・パラリンピックよりも、コロナ対策を」と多く国民の反対の声も聴かずに強行した、菅政権とオリンピック委員会。オリンピックが終わってみれば、専門家の予想どおり、感染者は、爆発的に広がっています。医療崩壊、千葉県でも1万人を超える自宅療養者。そして、20代～50代の働き盛りの男性や女性が、医療を受けられず、毎日死に至っています。先月、起こった柏市の新生児死亡事件は、妊婦さんのその日の状況が思い浮かび、大きな衝撃を受けました。まさに、今の菅政権の政治姿勢そのもので、私たちは、命の選択をされているんだと、怒りが収まりません。

オリンピックが終わり、これだけ感染が広がっているにも関わらず、菅政権や、オリンピック委員会は、パラリンピックを強行、無観客としたものの、学校連携観戦は、強行。周りの自治体が次々、観戦を中止する中で、千葉県知事と千葉市長は、あくまで、教育的意義を強調し、私たちのたびたびの申し入れにも、聞く耳をもちませんでした。子どもや先生たちの命よりも大事なものはありません。結局、引率した教師のコロナ感染が発覚し、ようやく中止を発表しました。なにを優先に政治を進めるのか、コロナ禍、国はもちろん、千葉県知事や千葉市長の政治姿勢が、見えてきた気がします。

国民は、この間の菅政権の政治姿勢とともに無策さをみてきました。支持率の下落がそれを表しています。菅首相は、首相就任にあたって、「自助・共助・公助」をまずかかげていました。こんな冷酷な政治を続けさせるわけにはいきません。

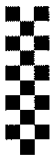
現在、自民党は、「国会を開いて、まともなコロナ対策を」の野党や国民の声を聴かず、自民党の中で、総裁選をめぐる、党利党略を続けています。必ず行われる、秋の衆議院選挙では、みなさんと力を合わせ、自・公、菅政権を退陣に追い込んでいきたいと思います。私たちも、精一杯頑張ります。

貴団体の大会の成功を祈念し、メッセージとさせていただきます。

2021年9月5日

新日本婦人の会千葉県本部

会長 松田 まつえ



## メッセージ

千葉労連第33回定期大会が開催されますこと、心からお祝い申し上げます。

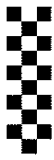
菅政権が依然として暴走政治を続け、新型コロナウイルス感染症についても、緊急事態宣言を何度も発令しただけで実質的な対策を怠り、感染者が増加するなかオリパラを強行しました。この秋には行われる衆議院総選挙に向けて、私は国民の命と生活を取り戻す為に全力を挙げて頑張ります。

私の政策の一つに「賃金を増やすことが、最良の経済政策」と訴えております。また、その中には最低賃金も1500円まで引き上げ、年々10%の引き上げを考えております。

何よりも「8時間働けば普通に暮らせる社会の実現」の為、皆様と手を携えて私も引き続き頑張って参ります。

本大会が実り多い大会であることを祈念し、私のメッセージとさせていただきます。

衆議院議員 生方 幸夫



2021年 8月 30日 (月)

千葉県労働組合連合会  
議長 本原 康雄 様日本共産党千葉県委員会  
委員長 小倉 忠平

## 千葉労連第33回定期大会へのメッセージ

千葉労連の第33回定期大会にあたり心からの連帯のメッセージをおくりします。

千葉労連が、千葉県のセンターとして労働者の命と暮らしを守り、全国一律1500円以上の最低賃金実現など労働条件改善のために奮闘されていることに、あらためて敬意を示すものです。

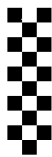
新型コロナウイルス感染拡大爆発の中、8月26日段階で、緊急事態宣言が21都道府県、重点措置は12県にまで拡大し、47都道府県の7割にあたる33都道府県が対象となりました。政府はこの間、新型コロナに対し大規模検査の実施、十分な補償、医療機関への支援などのやるべき対策を怠り、五輪開催強行が自粛の呼びかけと矛盾したメッセージとなり、感染爆発を招きました。

日本共産党は、8月19日に「コロナから命を守る緊急提案」(①全ての患者に医療を提供する、②感染封じ込めへ大規模検査を、③パラリンピックを中止しコロナ対策に全力を)を菅首相に提出しました。また、党千葉県委員会と県議団は、8月16日に熊谷県知事と懇談し、全県民規模の検査でコロナ感染を封じ込める「千葉方式」を提案し、その実施を強く要請しました。8月20日には、パラリンピック「学校連携観戦プログラム」の中止を知事と教育庁に申し入れました。

菅政権への国民的怨嗟(えんさ)は、高まりをみせ、菅政権への痛烈な批判は、8月22日に投開票された横浜市長選挙の結果にはっきりと示されました。4月の衆参3選挙、7月の東京都議選に続く菅政権への痛打です。市民と野党の共闘の力が発揮され、無党派の中での支持の大きな流れをつくることができたことも重要な成果といえます。

こうしたなか、日本共産党は、8月4日に党創立99周年記念講演会を開催し、コロナ危機をめぐる政治的対決の構図、日本社会のゆがみをただす展望、米中対立のもとでの平和の秩序をどうつくるかの解明、野党共闘の歴史的な位置付け、社会変革の主体的条件を発展させる日本共産党の役割などを解明しました。

第33回千葉労連定期大会に参加された皆さん、「8時間働けば普通に暮らせる社会」「ジェンダー平等を促進し、同一価値労働同一賃金の9+実現」など労働者の切実な要求実現のため、「政治を変えて要求を実現しよう」の立場で、ともに政治革新のためにたたかうことを、呼びかけて定期大会への連帯の挨拶とします。



千葉県労働組合連合会  
議長 本原 康雄 様

## 大会メッセージ

第33回定期大会のご盛会を心からお祝い申し上げます。  
コロナ感染の拡大が続く中、大会を組織された役員・活動家のみなさんに敬意を表します。

菅政権の無策によってコロナ感染の爆発的拡大は全国に広がり、既に21都道府県に「緊急事態宣言」が発せられ、「まん延防止特別措置」は12県に上りました。47都道府県の7割が宣言と特別措置に指定される異常な事態となっています。「普通ならあり得ない」(尾身会長)「オリ・パラ」を強行した結果が、今日の医療崩壊を招いています。また、コロナ関連の倒産件数は1943件(帝国データバンク)、コロナ解雇は11万人を超えた(厚労省)と言われますが、これは氷山の一角であり実態は急速に雇用破壊が進行しています。

菅政権の支持率は30%を切り、最近の毎日新聞の調査では26%まで低下しました。先の横浜市長選では側近の候補が18万票の大差で敗北したことは周知の通りです。しかし菅政権は、政権維持に汲々とし「党利党略」の自民党総裁選を実施しようとしています。

いま必要なのは国会を開催し、「コロナ対策」に全力を上げることではないでしょうか。「明かりが見え始めた」などの発言は、自宅療養者が10万人を超えた現実から目をそらすものでしかありません。野党の意見に耳を傾け、国民に「キチンと説明する」ことなくしてこの危機を乗り越えることは出来ません。

解散・総選挙の日程は不明ですが、近々に実施されることは必至です。労組・市民と野党の共闘で「アベ・スガ政治」にサヨナラし、何としても政権交代を実現したいものです。わが党も皆さんと力を合わせ、市民と野党共闘の前進に全力を挙げることを申しあげて連帯のメッセージとします。

大会のご成功を祈ります。共に頑張りましょう。

2021年8月吉日  
新社会党千葉県本部  
委員長 石井 俊雄

---

## 千葉労連第33回定期大会へのメッセージ

---

千葉県労働組合連合会  
議長 本原 康雄 様

定期大会にお集まりのみなさんに、心からの連帯とご盛会のお祝いを申し上げます。

未曾有のコロナ禍が長期化し、愛労連に寄せられる相談は深刻さを増しています。解雇や雇止めをはじめ、失業給付が切れるのに就職先が決まらない、緊急小口資金など利用できる国の支援策が尽きてしまい生活に困窮する人が増えています。また、経営の危機にさらされている中小企業も少なくありません。

一方、大企業はコロナ禍でも莫大な利益を積み上げ459兆円の内部留保をため込みましたが、労働者や下請企業への恩恵はなく実質賃金は大きく下がっています。こうしたもとで、大企業に蓄積された内部留保を今こそコロナ禍を乗り越えるために活用すべきという指摘や声は、経済学者やエコノミストなど専門家からも上がっています。多くの労働者が長期化するコロナ禍と将来不安から消費を抑えていることが景気悪化に拍車をかけているからこそ、すべての労働者の大幅賃上げを実現することが必要です。

今春闘では、「要求は自粛しない」「コロナ禍だからこそすべての労働者の賃上げを」と攻めのたたかいをすすめ、コロナ禍でも昨年並の回答水準を築いてきました。

「格差をなくし、8時間働けば誰もが普通にくらせる社会」をつくるために最低賃金全国一律1500円の実現をめざし、政府と財界・大企業が責任を果たすことを求める運動と世論を巻きおこしましょう。

菅政権の無為無策、後手後手のコロナ対策が爆発的な感染第5波を起こし、医療崩壊が現実のものとなり、助かるいのちを救えなくなっています。医療や公衆衛生の現場がひっ迫しているのにオリンピック・パラリンピックを強行し、国民に誤ったメッセージを発したことで感染爆発を煽っています。国民に自助と共助を迫り、いのちより経済や政府のメンツを優先させる菅政権の悪政をこれ以上許すわけにはいきません。まもなく衆議院総選挙が行われます。市民と野党の共闘を各地で発展させ、いのちと暮らしを守り、憲法を活かす新しい政治を実現しましょう

こうしたたたかいに、愛労連もみなさんと一緒に奮闘する決意を申し上げ、大会の成功を祈念し連帯のメッセージとします。ともにがんばりましょう。

2021年9月5日

愛知県労働組合総連合  
議長 西尾美沙子



## メッセージ

千葉県労働組合連合会第33回定期大会にあたり、連帯のメッセージを送ります。  
あわせて日頃より、千葉県社保協の活動への多大なご協力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の下、日本の社会保障体制の脆弱さがより鮮明になりました。菅首相は、コロナ収束よりも経済活動を優先し、感染拡大を招き、新自由主義路線の推進で、効率最優先の医療をはじめとした社会保障削減・抑制策をさらに推し進めようとしています。

医療機関・介護事業所をはじめ保育・福祉関連施設の経営も悪化し、働く労働者の心身の疲弊も極限に達しています。この間取り組まれたコロナ関連のさまざまな相談活動には、切実な相談が相次ぎ寄せられています。その困難は、とりわけ高齢者、非正規労働者や女性などに集中し、コロナ危機のもとで派遣やパートで働く人々の雇い止めが噴出しています。年金切り下げの下で、働かざるを得ない高齢者も増加しています。

いま、求められているのは、憲法の理念に基づいて、国が責任をもって国民のいのちと健康、安全・安心を確保する施策を実行することです。

政路を変えない限り、コロナ禍を克服できないばかりでなく、今後ますますいのちとくらしが危険にさらされると、自公政権に対する怒りが大きく広がっています。

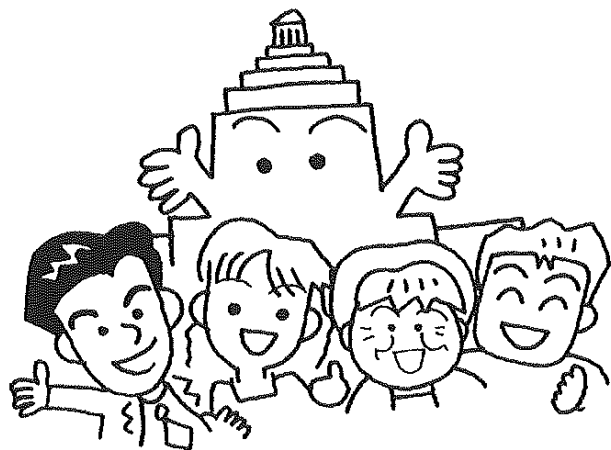
秋に予定される総選挙は政路を変えるチャンスです。

平和で基本的人権と生存権が保障される社会、憲法が生きる社会を築くため共に手を携え、地域から共同のとりくみをいっそう広げましょう。

貴会のご発展と皆様方のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

2021年9月5日

社会保障推進千葉県協議会  
会長 鈴木徳男





千葉県労働組合連合会 御中

## メッセージ

千葉労連第33回定期大会のご盛会を祝し、京都総評より心からの激励と連帯のメッセージを送ります。

この一年数カ月、新型コロナウイルス感染症の拡大で、多くの労働者・国民が大変な困難に直面しました。誰もが経験したことのない事態の中で、労働運動も大きな制約を受けざるを得ませんでした。感染拡大防止に留意しながら精力的に活動されてこられたことに敬意を表します。

コロナ禍のもとで、労働者・国民のいのちと暮らし、中小企業や零細事業者の生業が脅かされています。こうした時こそ、国や自治体がいのち・暮らし・生業を守り切るために全力をつくす必要があります。しかし、コロナ禍で苦しむ国民生活の現状を受け止めない菅政権は、不安定雇用と貧困、経済の疲弊を増大させ、その影響は労働者、職場、地域に大きな打撃を与えています。

こうした情勢のもと、私たちは、コロナ禍から国民のいのちと暮らしを守る社会をめざし、人間らしく働くルールの確立、8時間働けば普通に暮らせる賃金、安定雇用、社会保障の充実など、国民生活を下支えする施策の実現めざして、大いに奮闘していくことが求められます。

今こそ、労働組合の出番です。

すべての労働者・国民の要求と切り結んで、労働組合らしくしっかり要求をかかげて元気にたたかっていきましょう。そして、すべての労働者に労働組合を知らせ、労働組合を強く大きくしていこうではありませんか。

同時に、国民のいのちと暮らしを守り切る政治への転換をもとめて奮闘しましょう。

ともに奮闘する決意を込めてメッセージとします。

2021年9月5日

京都地方労働組合総評議会  
議長 梶川 憲

千葉県労働組合連合会  
議長 本原康雄 様

2021年9月吉日

### 千葉労連第33回定期大会へのメッセージ

定期大会のご開催まことにおめでとうございます。長年のご活動に敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。長期化する営業自粛や休業の要請で追い込まれている事業者が増え、特に、エッセンシャルワーカーや非正規、シングルマザーなど多くの女性がコロナ禍に直撃され苦しんでいます。東京オリンピック・パラリンピックの強行は、さらに深刻な事態を招くことになりました。

私たちは、コロナ禍で困窮している方々、特に雇止めやDV被害に遭い、不安と絶望の淵にある女性たちが、「生存権」「幸福追求権」を取り戻し、尊厳を持って生きていけることにつながるよう尽力します。

また、コロナウイルス始め多くの感染症は、人間による環境破壊が原因と考えられています。新たな感染症を防ぐためにも、私たちは自然環境を大切にし、世界中の人々との平和なつながりの中で、分かち合い、支え合う公正で持続可能な社会の実現をめざし、政治を変革し、これからも行動を続けます。

貴連合会のますますのご活躍をお祈りいたしますとともに、政治への希望を取り戻すための取り組みをともに進めていくことを表明し、連帯の挨拶とさせていただきます。

緑の党千葉県本部 共同代表  
会津素子 野中康生

れいわ新選組副代表の船後靖彦でございます。

本日、千葉県労働組合連合会の第33回定期大会がとり行われますことを、心よりお慶び申し上げます。

働く方々の健康、いのちを守るため、日々ご活動されておられる皆様に心から敬意を表します。

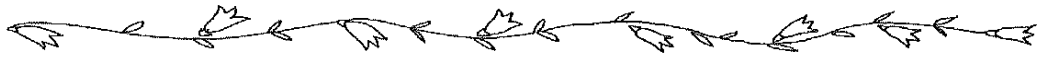
れいわ新選組は皆様もまさに訴えておられる「最低賃金全国一律 1500 円」をはじめ、「安定雇用 1000 万人！ロスジェネに安定を」を旗頭に、大胆な財政出動で良質の雇用を増やし、希望する人に安定した雇用を保障する政策の実現を訴えています。

皆様とともに、こうした政策の実現にむけて力をあわせていきたいと考えております。

ともに頑張りましょう。

2021 年 9 月 5 日

れいわ新選組 副代表 参議院議員 船後靖彦



## メッセージ

千葉労連第33回定期大会の開催おめでとうございます。貴団体の全国一律の生活できる最低賃金を求めるたたかい、県内労働者の生活と権利を守るために労働者に寄り添いながら昼夜分かたずご尽力されていることに心より敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症は収束どころか変異株の影響でさらに拡大しています。この未曾有のパンデミックに加え、安倍政治を継承した菅政権が掲げる「自助・共助・公助」の政策が、国民のいのちよりも経済を優先させたことにより、国民・労働者の雇用と生活を困難に陥れています。

さらにこのコロナ禍に乗じてデジタル法案や国民投票法改正案、土地利用規制法案など国民の基本的な人権を制限する悪法を強行に成立させ、一方で文書隠蔽・改ざんなどの疑惑が渦巻く中で、説明責任をまったく果たさず、野党が求めた国会会期延長にも応えず、おおよそ民主主義国家とは言えないような有様です。

しかし、だからこそ私たち国民が「仕方がない」とあきらめてしまえば、余計に政権の自由を許してしまいます。今こそわたしたちがもっと強く声を上げていく必要があります。

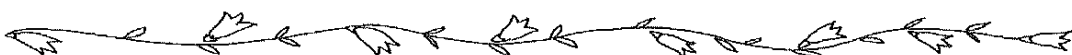
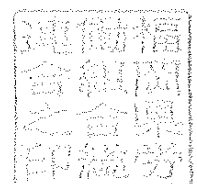
貴大会の成功をご祈念するとともに、福岡県労連も「新型コロナウイルス終息後の社会」が憲法に事づいた個人がいきいきと活躍し、安心して働ける職場・豊かな地域、公正な社会となるよう展望しながら、平和と民主主義を守るための運動を共に進める決意を込めお祝いのメッセージといたします。

千葉労働組合連合会 御中

2021年8月31日

福岡県労働組合総連合

議長 山下 和博



## 千葉労連第33回定期大会へのメッセージ

自由法曹団千葉支部

千葉労連第33回定期大会おめでとうございます。また、県内の労働運動、憲法、平和、民主主義擁護のための日夜の奮闘ご苦労様です。

現在、新型コロナウイルスの過去最大の感染拡大が全国的に生じています。

そして、政府の新型コロナウイルスの感染拡大防止への無為無策はもとより、コロナ禍により、労働者の解雇や雇止め、休業を余儀なくされた非正規労働者に対する休業補償の不払いの問題等が数多く生じているにもかかわらず、これに対しても政府は従前と同様に不十分な対応を続けています。

他方、新型コロナウイルスや東京オリンピックに関連する公共事業により一部の企業がいわば不透明な利益を享受するという事態も生じており、まるで政府の目には一部の者しか見えていないようです。

政治を国民の手に取り戻し、労働者の命と生活を守るため、共に頑張りましょう。

以上

千葉県労働組合連合会 御中

## 定期大会へのメッセージ

定期大会の開催おめでとうございます。

労働者の権利を守り、社会保障の充実や平和の発展のため連日ご奮闘されていることに敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、菅政権はオリンピック開催を強行しさらなる感染を拡大させた結果、医療崩壊の現状を招きました。中等症までの感染者は自宅での治療方針も撤回することなく、「緊急事態宣言」や「まん延防止重点措置」の適用地域を拡大し、自粛を押し付けるのみで十分な補償を行わず、国民のいのちと暮らしは危機に瀕しています。

野党が要求している国会の開催に応じない、自民・公明の与党についても菅政権と同様の責任があります。

このようなコロナ禍だからこそ、大幅な賃金の引き上げが必要です。最低賃金の引き上げ額の目安は過去最高となりましたが加重平均で時間額930円にしかありません。「今すぐ1000円に引き上げ、さらに1500円へ」最低賃金の大幅な引き上げを求めていきましょう。

また人事院勧告による公務員賃金の減額などを跳ね返し、働くものすべての賃金引き上げを実現し、国民のいのちと暮らしを守るための運動を広げ、今年の秋には行われる総選挙で、国民に寄り添う政治への転換を実現しましょう。

兵庫労連もこれまで以上に共同を広げ、8時間働けば帰れる・暮らせる社会をめざし、憲法改悪ストップ、社会保障・福祉の充実、労働者・住民の生活を守るため、今後も共に奮闘する決意を申し上げます。

最後に、今大会の成功と貴労組のますますのご発展を祈念してメッセージいたします。

2021年9月5日

兵庫県労働組合総連合

議長 成山 太志



千葉県労働組合連合会 御中

## 定期大会へのメッセージ

定期大会の開催おめでとうございます。

労働者の権利を守り、社会保障の充実や平和の発展のため連日ご奮闘されていることに敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、菅政権はオリンピック開催を強行しさらなる感染を拡大させた結果、医療崩壊の現状を招きました。中等症までの感染者は自宅での治療方針も撤回することなく、「緊急事態宣言」や「まん延防止重点措置」の適用地域を拡大し、自粛を押し付けるのみで十分な補償を行わず、国民のいのちと暮らしは危機に瀕しています。

野党が要求している国会の開催に応じない、自民・公明の与党についても菅政権と同様の責任があります。

このようなコロナ禍だからこそ、大幅な賃金の引き上げが必要です。最低賃金の引き上げ額の目安は過去最高となりましたが加重平均で時間額930円にしかありません。「今すぐ1000円に引き上げ、さらに1500円へ」最低賃金の大幅な引き上げを求めていきましょう。

また人事院勧告による公務員賃金の減額などを跳ね返し、働くものすべての賃金引き上げを実現し、国民のいのちと暮らしを守るための運動を広げ、今年の秋には行われる総選挙で、国民に寄り添う政治への転換を実現しましょう。

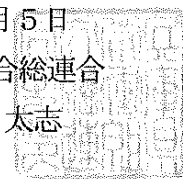
兵庫労連もこれまで以上に共同を広げ、8時間働けば帰れる・暮らせる社会をめざし、憲法改悪ストップ、社会保障・福祉の充実、労働者・住民の生活を守るため、今後も共に奮闘する決意を申し上げます。

最後に、今大会の成功と貴労組のますますのご発展を祈念してメッセージいたします。

2021年9月5日

兵庫県労働組合総連合

議長 成山 太志





千葉県労働組合連合会 御中

## メッセージ

第33回定期大会のご開催を心よりお祝い申し上げます。日ごろから県内労働者の暮らしを守り、平和と民主主義のために日夜ご奮闘されている貴会に敬意を表します。

この間の新型コロナウイルス感染症の拡がり、医療・社会保障の劣化・脆弱さを露呈し、国民生活を困窮させ、経済低迷に追い打ちをかけています。それにもかかわらず、政府はオリンピック開催を強行しました。

一方、先の通常国会では、75歳以上の医療費窓口負担に「2割」を導入する法案や、公立・公的病院の再編・統合をはじめとした医療提供体制を縮小させる法案が自民、公明、維新などの賛成多数で可決、成立しました。

いま、政府・国会が全力を上げて取り組むべきことは、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と打撃を受けた国民生活の再建、生業の保障です。断じて、医療に対する不安を与える政策ではありません。生活困窮者への支援拡充や雇用維持、感染拡大防止や医療確保などコロナ禍から国民の命・健康を守る施策の拡充は一刻の猶予も許されない状況です。

こうした情勢の中、「全国一律1500円の最低賃金を実現して、8時間働けば普通に暮らせる社会の実現」をめざして奮闘されている貴会に求められる期待はますます大きくなっていると思います。

大会のご成功と貴会の今後ますますのご活躍・ご発展を心よりお祈り申し上げます。

2021年8月27日

千葉県保険医協会  
会長 岡野 久





千葉労連 御中

第33回定期大会への「メッセージ」を送らせていただきます。  
今後ともよろしく申し上げます。

2021年8月24日

千葉県原水協

事務局長：紙谷敏弘

043-441-5093

## メッセージ

第33回定期大会のご盛会おめでとうございます。原水爆禁止千葉県協議会から連帯のメッセージをおくらせていただきます。

昨年来のコロナ禍のもとで、大変苦勞されていると思います。本来なら政治の力で、国民を支援すべきところですが、菅政権は、前任の安倍政権以上の反動的、強権的で国民の願いに背を向け続けています。さらに、東京オリンピック・パラリンピックの強行で、新型コロナ感染を拡大させています。まさに、国民の生命を軽視する政治姿勢です。一刻も早く退陣に追い込み、国民の願いを託す政権に変えなければなりません。この秋には総選挙があります。多くの方々と共同していきましょう。

その象徴的なのが、核兵器をめぐる姿勢です。国連発足以来の悲願である「核兵器廃絶」にむけた大きな一歩である「核兵器禁止条約」の署名・批准を拒み続けています。そのうえ、核保有国との多国間共同訓練を繰り返しています。現在は、米軍主催の世界規模にもなる大演習に参加しています。まもなく、イギリスの空母を軸にした艦隊とも共同訓練をすることになっています。このままでは、核保有国がすすめる核戦争の当事国になる危険性も高くなっています。

広島・長崎・ビキニの体験をもつ、日本にとって「核兵器廃絶」は悲願です。また、10年前におきた福島第1原発の事故は、放射能の危険性を私たちに痛感させました。ところが、菅政権は、何ら科学的根拠を示すことなく、補選水の海洋放出を決定しました。この暴挙を止めなければなりません。ともに力をあわせましょう。

今年の原水爆禁止世界大会は、コロナ禍のもとで今年も昨年と同様、オンラインでの開催となり、全国から9000人がウェビナー登録で参加しました。千葉県からも①30人を超え、視聴会参加者数も約400人になりました。この成果を活かしていきたいと思います。

千葉労連のみなさんは、核兵器廃絶にむけた運動の先頭にたってきました。とくに、地域での活動では、その存在感を力強く示されてきました。そのことに心から感謝申し上げます。ひきつづき、より一層のご協力をお願いいたしまして、連帯のメッセージとさせていただきます。

2021年9月5日

原水爆禁止千葉県協議会

## メッセージ

### 千葉県労働組合連合会 御中

定期大会の開催にあたり、メッセージをお送りします。力強いお取組みに心から敬意を表します。

コロナ禍の先の国会ではいくつもの悪法が採決されました。国民への監視を強め、病床を減らす、高齢者の医療費自己負担を増やす法律が通りました。また、政府は憲法を違反して国会を開きません。引き続きの運動が求められています。

今、最優先に必要なのは、命を守る施策です。後手を踏みながら、緊急事態宣言やまん延防止を乱発しながら、大人数が想定できない動きをすることが間違いないオリンピック・パラリンピックは強行する。「人流」を減らすのではなかったのか、心底疑問です。振り返れば労働者にはテレワークをせよ、また、学生に学校へ行かせないという暴挙に出たにもかかわらず、GOTO キャンペーンで旅行には行かせて、そこでの感染はないと強弁する。この国の住民の暮らしに立脚した政治をするという信念はかけらもなく、矛盾だらけのふるまいです。

全国の仲間は、国への直接の要請や署名、SNS を駆使して、シフト労働者の休業補償を制度化させ、保健所を守れ、病床を削減するな、オリンピックに看護師の派遣は困るなどキャンペーンを張ることでメディアを動かし世論を変えてきました。コロナ禍でも、いえ、だからこそ一層力強くたたかっています。私たちも「いのちをまもる」そのことを合言葉にして取り組んできました。

守られるべき命が守られない、そのことが明らかになってきました。これまで、現場からの「削減してはいけない」という警鐘を無視、あるいは弾圧・排除し、世界の常識や科学に基づかず、新自由主義の鐘の音のもと医療・社会保障を切り下げてきた結果がコロナ禍での惨事を大きくしました。引き続きの運動で、とりわけこの総選挙でこれまでの悪政を追いやり、大いに反省させましょう。何より、まっとうな政治へと変えましょう。

私たちは「8時間働けば暮らせる社会、賃金」を求めています。コロナ禍においては補償を、働く現場においては暮らせる賃金を実現し、長時間過密労働やあらゆるハラスメントをなくそうと取り組んでいます。皆さんのたたかいにも連なって「いのちまもる」ために力を注ぎます。とりわけ、今からは最低賃金の改定の議論が始まります。大幅引きあげとともに中小企業への支援を求めて取り組みを強めます。

今日の皆さんの議論が明日からの運動をさらに強くすることをお祈りして、メッセージとします。共に力を尽くしましょう。

滋賀県労働組合総連合

議長 岡本 恭治

千葉県労働組合連合会御中

第33回定期大会の開催、おめでとうございます。

日頃のご奮闘に心からの敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症が日本で初めて報告されてから1年8ヶ月が過ぎようとしています。千葉県の新規感染者数は連日1000人を超え、コロナ専用病床の使用率は約8割、重症者用の病床も含めてひっ迫している状況です。第4波の際に近畿地方で起こった自宅療養者の在宅死、30代、40代の方でも重症者病床への転院が出来ずお看取りするといったいのちの選別が私たちの目の前で起こっています。

先日は柏市において陽性の妊婦の出産受け入れ先が見つからず、自宅で出産し、新生児が亡くなるといった痛ましい事例がありました。保健所も機能不全に陥り、濃厚接触者の健康観察もできない事態となっています。「具合が悪くなったら、自分で医療機関を探して」という自己責任ともいえるような実態が進行しています。

医療機関や介護事業所で働く職員も長引く緊張、疲弊感、そして、救える命が救えないという状況に職員のメンタルヘルスも大変心配な状況です。

コロナ禍で顕在化した社会保障の脆弱さ、格差と貧困の拡大、とりわけ女性の貧困などの課題を真摯に受け止め、いのちが大切にされる政治への転換を実現しなければならないことは誰しも感じているところではないでしょうか。

今後とも一緒に国民のいのちと暮らしを守るため奮闘いたしましょう。

簡単ではありますが、お祝いと連帯のメッセージと致します。

2021年8月23日

千葉県民主医療機関連合会

会長 宮原 重佳

## 千葉労連第33回定期大会へのメッセージ

千葉労連第33回定期大会にあたり連帯のメッセージを送ります。

新型コロナウイルス感染の拡大で不安と緊張が続く中、医療崩壊と経済へのダメージが深刻となり、労働者の雇用と暮らしを直撃しています。こうした中、労働者の権利を守り奮闘しているみなさまに心より敬意を表します。

菅政権の政治は、学術会議任命拒否など強権政治、自助を叫ぶ新自由主義の推進に加えて、世論を無視して五輪を強行するなど、新型コロナウイルス感染への無策により感染爆発となっています。内閣支持率は軒並み20%台に低落を続け、一連の選挙での敗北の連鎖、国民からノーを突き付けられ、末期的な様相を呈しています。

いま、日本社会の未来を展望し政治の転換が必要です。4月の3つの補欠選挙・再選挙での勝利、東京都議選での「市民と野党の共闘」の前進、横浜市長選での圧勝と「市民と野党の共闘」はさらに発展しています。直面する総選挙での共闘を力強くするために、新自由主義からの転換の諸要求、憲法、沖縄、消費税、原発再稼働、社会保障、最低賃金、多様性の尊重、災害に強いまちづくりなど幅広い政策合意と国民的運動の発展が大きな力となります。県内でも、各地の市民連合が引き続き総選挙にむけた運動を継続させています。

さらに、共闘を発展させ各小選挙区での野党共同での勝利に力を尽くし、「命と暮らし、立憲主義・民主主義が輝く社会」を合言葉に総選挙で政権交代を実現し、新自由主義からの決別を目指しましょう。

2021年9月5日

革新と正義のための千葉県の会

(千葉県革新懇)

# メッセージ

第33回定期大会にあたり、連帯とお祝いのメッセージを送ります。

貴労組が、組合員の生活と権利を守ることと、平和と民主主義を守るたたかいを一体のものとして追求され、全国の仲間を激励する成果をおさめていることに、心より敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、労働者・国民の日常は大きく変化しました。失った日常を取り戻すにはまだまだ時間がかかります。PCR検査は限定的で、無症状感染者を把握し、速やかな医療措置をとることができない状態です。感染封じ込めができていません。ワクチン接種もその方針において朝令暮改が繰り返され、自治体も医療関係者も国民も振り回されています。菅内閣の無為無策は許しがたいと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大は、医療・介護・公衆衛生分野をはじめ、新自由主義によってもたらされた社会の仕組みの脆弱性をあぶりだしました。コロナ禍を理由にした労働者・国民への我慢の押し付けを許さず、真に安心安全な社会を作り上げていくたたかいを強化しなくてはならないと考えます。労働組合の出番です。

秋田県労連は、皆様のたたかいに学び運動を前進させていく決意です。今後もしよろしくお願いたします。

定期大会の成功と貴労組の発展を祈念し、メッセージとさせていただきます。

2021年9月5日

千葉県労働組合連合会  
議長 本原 康雄 様

秋田県労働組合総連合  
議長 加賀屋 俊悦

千葉県労働組合連合会  
議長 本原康雄 様

## メッセージ

千葉県労働組合連合会第33回定期大会の開催、おめでとうございます。

また、私たちの活動に対する、日ごろからのご支援に心から感謝を申し上げます。

さて、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から、10年が経過しました。現在の焦点はALPS処理水の海洋放出問題です。

菅首相は、4月に、ALPS処理水を海洋放出する方針を決定しました。しかし、この決定は、漁業者をはじめ多くの福島県民の反対や慎重な対応を求める声を踏みにじって強行された許されない決定です。この決定以降も、多くの団体や県内各市町村議会から反対、撤回、見直しを求める意見書や声明などが出されています。隣県の岩手県、宮城県、茨城県などでも反対の声が広がっています。私たちは、海洋放出方針を撤回するとともに、ALPS処理水は当面、地上保管を継続し、国内外の英知を結集して解決をはかることを求めています。

新型コロナウイルスの感染拡大が、世界でも、日本でも続いています。またその深刻な影響も広がっています。新型コロナから、いのちとくらし、雇用を守るために、引き続き、力をあわせましょう。

コロナ危機で、いろいろ見えてきました。環境問題、貧困と格差、社会のあり方、政治のあり方などです。あらためて、国民一人ひとりがしっかりと見直すことが求められています。来たるべき総選挙で、市民と野党の共闘を成功させ、労働者の願いにこたえる政権をつくるために、ともにがんばりましょう。

2021年9月5日

福島県労働組合総連合  
議長 斎藤富春

# 祝 千葉労連第 33 回定期大会への メッセージ

千葉県労働組合連合会の皆さんの連日のご奮闘に心より敬意を表します。

コロナ禍によって、社会の弱さが浮き彫りになっています。この1年半、3度に渡る緊急事態宣言と4度にわたる感染拡大の波が押し寄せました。労働者・国民は生活苦を強いられ、限界に来ています。特に、コロナによる「十分な補償のない自粛・休業要請」は、約4割をしめる非正規労働者などの暮らしを直撃しています。国は、一刻も早く、コロナ収束に向けた抜本的な対策とともに、労働者・国民の窮状を救ういのちと暮らしを守る手立てをとらなければなりません。こうした中で日本商工会議所などは最低賃金引き上げに消極的な姿勢を示していますが、経済の疲弊をいっそう招くものに他なりません。雇用・社会保障が破壊され、大企業の利益のみを偏重する政治のもとで貧困と格差がいっそうすすんでいます。8時間働けば人間らしく暮らせる社会、安全・安心社会への転換を勝ち取るために、共にたたかい抜きましょう。

菅政権は、安倍政治を引き継ぎ改憲を明言し、こともあろうに、コロナ禍に乗じて、国民投票法や土地利用規制法を強行採決するなど改憲を押し進めようとしています。一方、入管法改正案は、労働者・国民の世論と運動によって、今国会で廃案に追い込むことが出来ました。

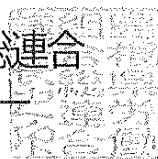
人権をまもるために、立憲主義と民主主義を取り戻すために、市民と野党が共闘して運動することが益々重要になっています。

私たちは、若者を再び戦場におくる愚かな選択をさせてはなりません。日本国憲法をもとに平和と民主主義を政府に守らせましょう。

しまね労連は、千葉労連第 33 回定期大会を心よりお祝いし、連帯のメッセージを贈ります。

2021年9月5日

島根県労働組合総連合  
議長 村上



千葉県労働組合連合会  
議長 本原 康雄 様

## 千葉労連第33回定期大会への 激励メッセージ

千葉労連第33回定期大会の開催にあたり、日頃から労働者の働く権利や賃金・労働条件の向上をはじめ、地域住民のくらしを守るとりくみにご奮闘されているみなさまに、心より激励と連帯のメッセージを送ります。

新型コロナウイルスの感染の拡大によって、国民のいのちと健康が脅かされ、中小零細企業やそこで働く多くの労働者に困難をもたらしています。特に女性や青年、非正規労働者に打撃を与え、格差と貧困が一層深刻に広がっている中で、コロナ禍の中失業や休業などに直面する労働者からの相談が多く寄せられています。

全国で新型コロナウイルスの感染拡大が急速に広がるもと、愛媛県内でも感染者が急速に増えており、独自の警戒レベルを最高レベルの「感染対策期」に引き上げられたところです。そういった中で菅政権は「自宅療養原則」により感染者の入院対象者を重症者らに絞り込むとした方針を出しており、すでに自宅療養中に症状が悪化し重症化しているケースが増えているなど、医療崩壊が始まっています。

財界や大企業の利益を優先させる新自由主義の下で、雇用によらない働き方など格差と貧困を広げる「働き方改革」をはじめ、コロナ感染から労働者のくらしを守るために、最低賃金の全国一律制度の確立、時給1500円の実現で、8時間働けば普通にくらせる職場と社会の実現で、景気回復を求めるたたかいや憲法9条改憲に反対、労働者や地域住民がくらしに希望を持てる政治への転換のためにもともに奮闘しましょう。

本日の大会にご参加の役員、代議員のみなさまがさらに組織と運動を発展させる方針を確立し奮闘されることを願い、激励メッセージとさせていただきます。

2021年9月5日

愛媛地方労働組合連合会  
議長 今井正夫



## 千葉労連第 33 回定期大会へのメッセージ

労働者・国民の暮らしを守る活動に日ごろから奮闘されている貴団体に敬意を表します。

安倍政権を引き継いだ菅政権は、憲法審査会を開催し「国民投票法案」を強行採決しました。この狙いは「9条に自衛隊を明記」すること、大災害などの緊急事態時に内閣が国民の権利を一時的に制限する「緊急事態条項」などの「改憲 4 項目」の審議を進めるための“呼び水”とすることです。国民の多くは改憲を優先課題と考えていません。また、大震災などの大規模災害に対応するためには憲法を変えなくても法律で対応できるものです。

さらに菅政権は、マイナンバーを基軸にした「デジタル監視法」や、軍事基地や原子力発電所などの周辺住民や抗議する人びとを監視し、命令に違反した者に刑罰を科す「土地利用規制法」も強行採決し、国民を監視し運動を抑えこむ政策を進めています。

こうした悪政に対し、貴団体が、「憲法を守り・いかす千葉県共同センター」の中核として運動の先頭に立ち活動している事は、県民の暮らしと権利、平和を守る大きな力となり、広く県民を励ましています。そして、「憲法改悪反対」の闘いは、大きな課題です。

私たち国民救援会は、憲法と国際人権宣言を指針に、あらゆる弾圧をはね返し、人権と民主主義を守る使命を持って活動し来年 4 月、創立 94 周年を迎えます。戦前の「治安維持法」に反対し、弾圧犠牲者を救援した経験を持つ私たちにとって「憲法改悪反対」の運動は当面する最重要課題として、みなさんと協力し運動を進めてきました。ひきつづき憲法改悪を許さず、「戦争法」、「共謀罪」廃止に向けた運動に取り組んでいくことを決意しています。ともに頑張りましょう。

貴団体の第 33 回定期大会の成功を祈念し、ひきつづき憲法と県民の生活を守る運動の先頭に立って活動されることに私たちも連帯することを表明し、メッセージと致します。

2021 年 8 月 吉日

千葉市中央区栄町 35-11

日本国民救援会千葉県本部

会長 鷺尾 清

Tel.043-239-7730 Fax.043-239-7740

2021年8月16日

千葉県労働組合連合会  
議長 本原 康雄 様

### メッセージ

千葉労連第33回定期大会の開催おめでとうございます。

日頃、構成単産・単組の労働者の待遇改善ばかりでなく、地域の人々の生活と権利の拡充を目指すともに、平和と民主主義を守る運動の先頭に立ってご奮闘されていることに心からの敬意を表します。新型コロナウイルス感染拡大は、第5波となり過去最高を更新し続け、医療現場は逼迫した状態です。今、国民が政府に求めているのは、検査と医療体制の抜本的な強化、暮らしと営業に対するスピーディーな補償の対応です。また、安心してかかれる医療・介護施設の環境です。ワクチン接種・PCR検査体制の強化、病院への財政的補償に早急に予算をつけるとともに、給付金も持続的な支給が必要です。コロナ後には、経済を単に元へ戻すものではなく、消費税減税を含め、貧困と格差のない社会を実現することが重要です。

また、菅政権による大企業の大儲けを最優先する新自由主義の政治は、社会保障費の削減、公立・公的病院の廃統合・病床削減など医療崩壊をすすめています。企業利益優先の経済は格差と貧困を拡大し、労働者・国民の生活を苦しめています。さらに、菅政権は憲法改悪とアメリカの戦争に加担する国づくりなど軍拡路線を押し進めています。

私たちはコロナ禍の今こそ、最低賃金を全国一律とし、大幅に引き上げさせることが必要だと考えます。大企業・富裕層中心の社会を変え、内部留保などを適切に活用し、だれでも8時間働けば普通に暮らせる社会を実現しましょう。

富山県労連はみなさんと共に、民主的で、だれもが人間らしく、自分らしく生きられる社会をめざして、市民と野党の共闘をいっそう進める所存です。貴組合の今後さらなるご発展を祈念してメッセージといたします。

富山県労働組合総連合  
議長 中山 洋一

## メッセージ

千葉県労働組合連合会第33回定期大会の開催おめでとうございます。日頃のみなさま方の労働者・国民のくらしと権利、平和と民主主義を守る運動に敬意を表します。また、静岡県評に対するご指導・ご鞭撻に感謝いたします。

コロナ禍による解雇や雇止めは、10万人を超え、中小企業の倒産・廃業などが急増しています。また、消費税の増税が、国民の消費購買力を低下させ、経済活動へ悪影響を及ぼしています。今すぐ消費税を5%に減税させる運動の強化が求められています。

不安定な雇用環境で働く労働者の賃金・労働条件切り下げの不安に直面している労働者等、生活困窮者が増加しています。コロナ禍の中だからこそ、最低賃金1,500円、全国一律最低賃金制度は直ちに実現させることが必要です。そのためにも、日本の企業の9割を超える中小企業・個人営業への支援が必要だと考えています。その実現のために力を合わせてたたかを進めましょう。

菅政権は、日本学術会議の任命拒否、内閣広報室のマスコミ統制など、安倍政治以上の強権・軍拡路線をあらわにし、国民がコロナ禍のなか、くらしと雇用・経営の危機に直面しているにもかかわらず、軍事費を増やし、改憲発議に向けた「改正国民投票法」を強行採決しました。このような政権に日本のかじ取りを任せるわけにはいきません。来る衆議院選挙において「市民と野党の共闘」で政権交代を実現させ、新しい政治への転換を求めていかなければなりません。

コロナ禍で「3密」を避けなければならない今、人とのつながりができず、集会や行動ができません。今こそ、誰もが安心した生活を送れる社会を創ることが、私たちの運動にかかっています。世論を変える国民的な共同を発展させましょう。

貴組織の第33回定期大会が、大きな成果をあげることを祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

2021年9月5日

静岡県労働組合評議会  
議長 菊池 仁



千葉県労働組合連合会 様

## メッセージ

千葉労連第33回定期大会のご盛會を心よりお祝い申し上げます。

日頃、職場労働者と地域のくらしを守るためにご尽力されていることに心より敬意を表するとともに、すべての労働者・国民のくらしを守り、平和の実現をめざして連帯のメッセージを送ります。

菅首相は「コロナは『緊急事態』だから、憲法に『緊急事態条項』を創設する」と表明し、4月の日米首脳会談では、台湾海峡などでの紛争に対して自衛隊がかかわることを宣言しました。あわせて、政府は史上最大の軍事予算をさらに増やし、「敵基地攻撃」の検討まですすめています。このことにより、日本が海外で武力行使に乗り出す危険性が大きくなっています。

いま、憲法9条を変える自民党のねらいは、こうした戦争する国づくりの道を自由にすすめることにあります。

さて、新型コロナウイルスのパンデミックは、労働者・国民のいのち、雇用、生活を直撃していますが、菅首相は、「非常事態宣言」発令や「まん延防止等重点措置を実施しても感染状況の下げ止まりが続くなか、聞く耳を持たず、国民に「自粛」を強制するのみで、4回目の緊急事態宣言を出しているもとのオリンピック・パラリンピック開催を強行しました。その結果、埼玉を含む6都府県に対象区域が広がり、まん延防止では、追加の8県を合わせ、13道県に広がっています。コロナ危機は、あらためて菅自公政権の無為・無策・無能・無責任のコロナ対策と資本主義経済社会の下で進められてきた新自由主義政策によって、弱い立場の人々に大きな影響が生じていることが浮き彫りになりました。

いま、求められているのは、コロナ禍の情勢だからこそ、憲法を軸に、人間らしく働き暮らせる平和な社会の実現と地域経済の再生、労働者の雇用と権利の拡大、それらを実現するため労働組合への結集と、10月までには必ず実施される総選挙に向け、独善的な菅政権に対し、私たちの幅広い共同の力で市民と野党の共闘を前進させて、希望ある政治を実現することではないでしょうか。

結びに、すべての労働者が人間らしく生き、安心してくらし働くことのできる社会の実現をめざし、千葉労連のますますのご発展と、ご参會の皆さまのご健勝を祈念し、第33回定期大会にあたってのお祝いのメッセージといたします。

2021年9月5日

埼玉県労働組合連合会  
議長 新島 善弘

千葉県労働組合連合会  
議長 本原 康雄 様

## 千葉労連第33回定期大会へのメッセージ

千葉県労働組合連合会第33回定期大会の開催おめでとうございます。貴労組のみなさんが、労働者・国民の生活と権利を守り、平和と民主主義を守るため、日夜ご奮闘されていることに心から敬意を表します。また、日頃から山梨県労へのご協力に深く感謝申し上げます。

1年以上におよぶ新型コロナウイルス感染拡大は、多くの尊い命を奪い、労働者・国民のくらしと雇用を困難に陥れています。逼迫する医療や公衆衛生体制や非正規労働者の雇用悪化に象徴的なように、不公正な経済社会による社会基盤の脆弱化、「貧困と格差」は、新自由主義の経済社会がもたらしたことは明らかです。

菅政権のコロナ感染拡大に対する無為無策は、放置できない事態となっています。十分な検査はしない、ワクチンも行きわたらない、4度の緊急事態宣言を招くなど、失わなくていい命が奪われています。その上、GOTO事業や五輪開催に固執し、感染防止に集中しない姿勢に批判の声が高まっています。財界大企業と政府は、さらに非正規労働者や女性にコロナ禍の痛みを集中させるなど、労働者に自己責任型労働を強制する規制緩和をコロナ便乗的に加速させています。大企業の内部留保は459兆円に上り、貧困と格差は広がっています。

また、菅政権は、コロナ禍で国民生活が困窮するなか、コロナ対策に集中すべきであるのに、今国会において多くの悪法を成立させました。とくに、医療の逼迫が叫ばれるなかにもかかわらず、消費税を利用した病床削減や医師の長時間労働容認などを推進する医療法改悪の強行をはじめ、後期高齢者への窓口負担2倍化法など社会保障制度の改悪をおこないました。また、国民が苦しんでいる実態を横目に「好機」として、国民が望まない改憲にむけて改憲手続法の採決を強行しました。さらに、EUに比べ個人情報規制が不十分な、国民監視社会に道を開くデジタル改革関連法、私権制限と住民監視の危険性を持つ土地利用規制法は会期末ぎりぎりのなかで採決を強行しました。菅政権は安倍政治以上に改憲、強権政治を強めています。

一方で、新自由主義の経済からの転換と立憲主義を取り戻す政策を含めた一致点で市民と野党の共闘が発展しています。総選挙の前哨戦とされた北海道、広島、長野の衆参3選挙や東京都議会議員選挙でも、多くの市民と野党の統一候補が勝利しています。迫る総選挙は、政権交代を実現する絶好の機会です。感染防止対策の充実による国民生活の回復を求め、いのちと暮らし、憲法が生きる安全で安心した社会の実現、そしてすべての人が人間として尊重され、幸せに暮らせる社会の実現に向けて力を合わせましょう。

貴定期大会のご成功を祈念し、山梨県労からの連帯のメッセージといたします。

2021年9月 5日  
山梨県労働組合総連合  
議長 上野 光正  
公印略

2021年8月12日

## メッセージ

千葉労連第33回定期大会の開催を祝し、貴組合と組合員の皆様に連帯と激励のメッセージを送ります。

長引くコロナ禍のもとで、雇用悪化、賃金引き下げの動きが強まっています。特に非正規労働者や女性にその痛みが集中し、虐待や自殺者の急激な増加が見られるなど深刻な局面を迎えています。

茨城労連は、5月24日に市町村対象の2020年度公契約アンケート結果を記者発表しました。今回の公契約アンケートは、2020年4月から始まった会計年度任用職員についてが中心でしたが、会計年度任用職員（非正規職員）の平均比率は前年よりも1.9%増の42.1%でした。牛久市と守谷市が50%を超え、パートタイム雇用が98.7%でフルタイムは1.3%の210人にとどまっています。また、会計年度任用職員の平均82.1%が女性で、会計年度任用職員＝非正規職員＝女性という問題が浮き彫りになり、ジェンダー平等の観点からも改善の運動が求められています。

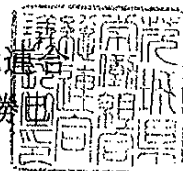
昨年、茨城労連が行った「最低生計費試算調査」では、水戸市在住の25歳の青年が普通に暮らすためには、月収25万円以上、年収300万円以上、時給1600円以上の賃金が必要という結果が出ています。年収200万のワーキングプアが1200万人を超えているというような話はありません。

さて、コロナ禍だからこそ、「8時間働けば誰もがまともに暮らせる社会」の実現をめざし、全国一律1500円の最低賃金を実現することが喫緊の課題です。引き続き「最低賃金を今すぐ1000円以上、1500円をめざせ」の運動を、職場や地域で大きく広げていきましょう。

最後になりましたが、貴労働組合の定期大会が組合員の皆様の積極的な討論で成功されることを心より祈念いたします。

茨城県労働組合総連合

議長 白石 勝



## 千葉県労働組合連合会第33回定期大会へのメッセージ

千葉県労働組合連合会第33回定期大会のご盛会おめでとうございます。

新型コロナ感染拡大から1年が経過しました。これまでに、世界では390万人、この日本でも1万4千人を超える方が命を落としました。大阪では、医療崩壊に直面する事態に陥り、10人に1人しか入院できず、必要な医療にかかれず自宅での療養を余儀なくされ死亡される方が相次ぎました。まさに菅政権の無為無策、補完勢力である維新政治の場当たりの対応による人災と言わなければいけません。

コロナ禍で「新自由主義」「自己責任社会」の大きなひずみが表れています。コロナ禍で貧困と格差の深刻化、大量失業、エッセンシャルワーカーに矛盾が集中している一方で、投資で資産を大幅に増やしている人たちがいます。菅政権と補完勢力である維新の会は、社会的リスクを「個人」に負わせる「自己責任」論に立ち、政治が行う範囲を小さくしようとしています。コロナ対策の失敗の根底には、「小さな政府」に見られる新自由主義路線があり、新自由主義路線の転換が求められています。

このコロナ禍の中で、たたかうことが職場や地域の活性化につながり、国や自治体の政策を変え力になることも体験しました。昨年の検察庁法断念に続き入管法改定案の廃案、35人学級の実現など「声を上げれば政治が動く」という情勢を作り出してきました。

悪化する経済を背景に要求自粛の圧力が強まるなかでの、コロナ禍だからこそ声をあげ、生活をまもる大幅賃上げ・底上げの要求をかかげたたたかいは、社会的な希望となっています。いま、ますます労働組合の存在と役割が大きく注目されています。「コロナ対策の抜本的強化」を正面に、「くらしと雇用の確保」「コロナ禍だからこそ、生活改善につながる賃上げ・底上げ」に向けて奮闘しましょう。政府と財界が推し進める、「多様な働き方」を口実に労働基準法が適用されない労働者を増大させる「雇用に拠らない働き方」を、断固阻止していきましょう。

菅政権は、「安倍政治以上の」強権政治を押し進め、改憲議論を加速させています。労働法制や社会保障のさらなる改悪で財界に奉仕し、企業が活躍しやすい国をめざしています。また、多くの人々の命にリスクをもたらしながら、なぜ五輪を開催しなければならなかったのかという国民の疑問に正面から向き合おうとしていません。

大阪では維新の会が、2度の大阪市住民投票での民意を踏みにじり、カジノ・IR誘致に伴うベイエリア開発に固執しています。また、改憲タッグを組む菅政権に早期改憲を迫り、立憲主義と民主主義を否定し、大阪と日本のあり方を大きく変えようとしています。

大阪労連は、コロナ対策を拡充し、いのち・暮らしを守り、大幅賃上げと雇用の安定・中小企業支援、地域活性化と憲法を守りいかすたたかいを共同の力で大きくすすめていきます。組織と運動の拡大・強化をすべての組織ですすめてゆくとともに、たたかう労働組合の役割を発揮し、改憲・社会保障解体を許さず、疑惑徹底究明・消費税減税を求め、菅政権を打倒し維新政治を終わらせるために、衆議院選挙も視野に入れ、さらに共同を拓けて奮闘していきます。

今大会が大きく成功され、貴組織がさらに発展されることをご祈念申し上げ、連帯のメッセージとさせていただきます。

ともにがんばりましょう。

2021年9月5日  
全大阪労働組合総連合  
議長 菅 義人

千葉県労働組合連合会  
議長 本原 康雄 様

## 第 33 回定期大会へのメッセージ

千葉労連の第 33 回定期大会の開催、おめでとうございます。

コロナ禍において、労働運動にも様々な制約や困難があるなかで、貴組織が組合員・仲間の労働条件をはじめとした要求実現のために、奮闘されていることに心より敬意を表します。

徹底したまともな感染抑止対策を行わず、逆にオリンピックの開催を強行するなどの菅自公政権の失政によって、感染爆発の第 5 波が起こり、労働者の命・健康や生活が脅かされています。医療や保健所などの体制強化を怠ってきた結果、状態が悪化をしても入院できない、まともに検査すら受けられない、異常な事態を引き起こしています。また、政府や自治体の要請に伴う減収などに対する補償や、労働者や事業者などの生活や仕事を守るための支援策も極めて不十分です。

国民や労働者の命・健康と暮らしを守るために、まともな政治を実現させる必要があります。神奈川労連としても、皆様とともに政権交代の実現をめざして奮闘していきます。

コロナ禍で地域経済がダメージを受けています。回復をはかるためには、何よりも労働者の賃金を引き上げ、個人消費を活性化させていくことが重要です。一時金闘争や来春闘において要求の実現をめざしましょう。また、全国一律「時間額 1500 円以上」の最低賃金を実現させるために、神奈川労連も皆様とともに全力でとりくみます。

定期大会を機に、千葉労連の運動と組織拡大が前進することを祈念し、お祝いのメッセージといたします。ともに、がんばりましょう。

2021 年 9 月 5 日

神奈川県労働組合総連合  
議長 住谷 和典



千葉県労働組合連合会 様

千葉県労働組合連合会第 33 回定期大会のご盛況をお祝いたします。

新型コロナウイルスに無為無策、「国民の命を守れ」の声が聞こえず、科学を無視し、命よりオリンピックが大事な菅政権では国民の命が守れません。

国民に説明せず、国会も開かない、独裁者の政治を進める政治から、野党共闘を守り、国民の命を守る方法は秋の選挙で政権を変えるしかありません。

国民生活が破滅状況になっている日本から暮らしを守り、生活向上に勤めている皆様に敬意を表します。

平和委員会は微力ですが、ともに闘いつづけてまいりますのでよろしくお願い致します。

尚、平和大会が 11 月 20 日にオンラインで行われます、ご参加をお待ちしています。

千葉県平和委員会

千葉県船橋市宮本 6-37-10

-フレンドハイツ 102

電話 047-412-8025

事務局長 影山秀夫